

事例36

< 事例概要 >

空気塞栓

- ① 80 歳代、心不全、肺炎、呼吸不全の患者（NPPV使用）、自立歩行困難。
- ② 栄養管理のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 19.8 kg/m<sup>2</sup>。脱水あり。胸郭変形、円背あり頸部伸展困難。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 頭部挙上・軽度左側臥位で右内頸静脈よりリアルタイム超音波ガイド下で穿刺。4 回目の穿刺で逆血確認後、外筒を進め、超音波の短軸像でガイドワイヤーの位置確認をした。外筒は開放のままであり、カテーテル固定中に経皮的動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）60%台に低下。穿刺から約2 時間半後に死亡。
- ⑤ 死因は、右心系血管の空気塞栓症。死亡時画像診断（Ai）有（頭頸部の静脈・右鎖骨下静脈・右房・右室・肺動脈の血管内に空気混入、特に右上肺動脈内部は空気で置換されていた）、解剖無。